

ストレッチャー搬送ロボット

「年中無休24時間オープン」「断らない医療」の提供を実践し、日々多くの患者を受けて入れている湘南鎌倉総合病院では、患者をストレッチャーに乗せて搬送する機会も多くある。一方、ストレッチャー搬送時には身体の負担も大きく、業務負担の軽減や搬送時の安全性の向上が求められている。

ロボット名 院内搬送アシストロボット

実証時期 2023/1/10（火） - 2023/2/24（金）（予定）

実証フロア 入院病棟（13階（腎臓内科）および3階（外傷センター））

課題

- ストレッチャー搬送は、看護師や看護助手が2人掛かりで実施しているが、身体的負担が大きい
- 重たいストレッチャーは急停止などの操作も負担となっており、停止操作が簡易になるなどの安全性の向上も求められている

ストレッチャーの下部に接続可能で、Joyスティックによって直感的に操作することが可能なロボットを活用して、搬送時の身体的負担を軽減する



実証内容



ストレッチャーの下部にアシストロボットを接続し、搬送業務のサポートをする



看護師が手元のJOYスティックでロボットを操作し、搬送業務を行う

期待される効果

- ストレッチャー搬送時の身体的負担の軽減。
- ロボットによるアシスト機能を用いることで、停止操作が簡易になり、ストレッチャー搬送時の安全性の向上。
- 負担軽減により、コロナ対策など他の医療業務の強化。